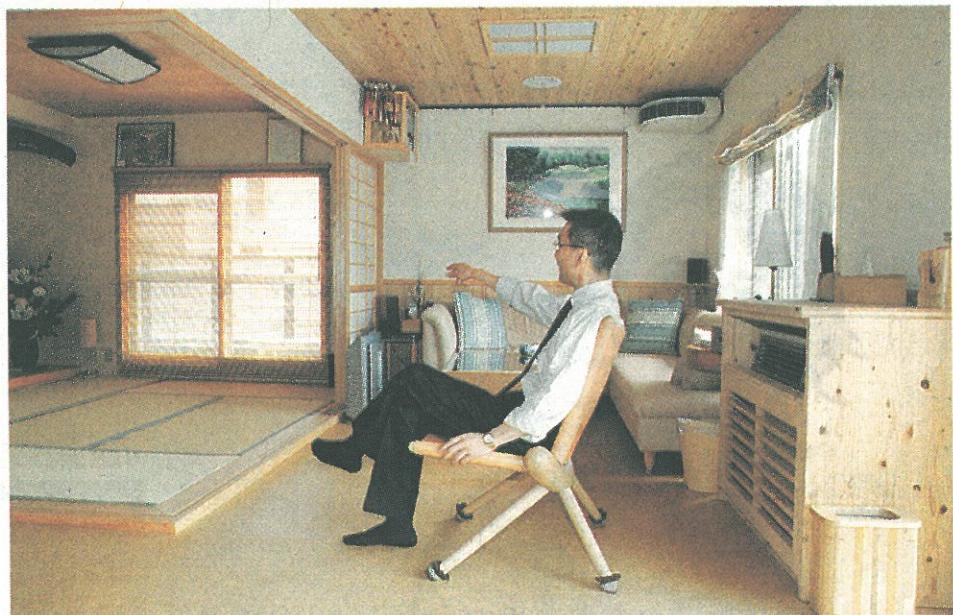
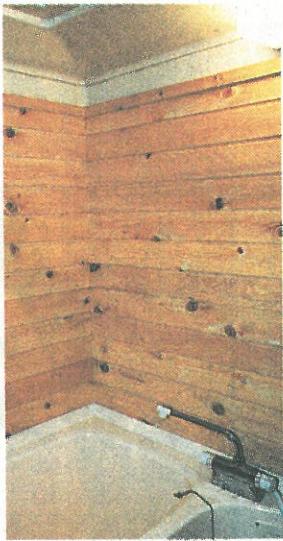


マンションのリフォーム



コルクタイルの床、珪藻土の壁、スギのムク板の天井など、自然素材をふんだんに使ったマンション



ヒバの板を張ったユニットバス。木の香りが浴室いっぱいに広がる

自然素材で快適さアツブ

天然木のムク材や、古代の植物プランクトンが化石化した珪藻土といった自然素材によるマンションリフォームが、注目を浴びている。素材の持つ自然の温かみを演出できるだけでなく、既存の内装材に比べて温気の調整がスムーズ。化学物質に過敏な人でも暮らしやすいという実用的な魅力もある。

ムク材の天井・珪藻土の壁 湿気調整に効果も

はわらを練り込んだ珪藻土で仕上げてある。塗料は蜂の巣を溶かした蜜蝋で作った天然のワックスを使用。備え付けのユニットバスとトイレにも一工夫あり、殺で、湿度は雨天、晴天、季景。「どうせなら、木をふんだんに使った体に優しい部屋にしよう」と考えた。珪藻土の壁や天然木が適度に温気や熱を吸収するのトイレにも一工夫あり、殺で、湿度は雨天、晴天、季景。「どうせなら、木をふんだんに使った体に優しい部屋にしよう」と考えた。珪藻土の壁や天然木が適度に温気や熱を吸収するの

札幌市の税理士、長峯章さん(47)が暮らすマンションは、床がコルクタイル、天井にはスギのムク板、壁めどにかく寒いし、殺風

約八十平方㍍の一室を購入したのは一昨年。十階建てマンションの最上階にある

じょうな条件の新築マンションを買って間もなくだった。築後二十年以上もたっているた

断然安いし、快適」と語る。突然安くなると、「自然素材を使ったマン

長峯さんが改修に踏み切ったのは「部屋にいると本当に心地よい。リビングでたる酒を飲むのが好きなんですが、まるでたるの中で一杯やっているような感じがしますね」

改修費は五百万円ほどで、購入費を含めても千五百万円程度。長峯さんは同

修した札幌の女性は「改修で、購入費を含めても千五百万円程度。長峯さんは同

修した札幌の女性は「改修で、購入費を含めても千五百万円程度。長峯さんは同

節を問わず50~60%とほぼ一定。同じマンションの四階に事務所を構えている以上、建材から放出される菌作用がある青森産のヒバのムク板を張って温もりを感じます。」「換気が十分でない化学物質をできるだけ抑えるしかない。自然素材の温度を調整する作用で、結露やカビの発生もある程度抑えられる」と話す。二年前に珪藻土の壁や木製チップを透き込んだ和紙張りの天井といった自然素材で自家マンションを改修した西條正幸社長は「改修前は部屋の中全体がかび臭いし、冬は暖か。同じ建物でも快適さがこんなに違うのかと驚いています」。

西條社長が改修したあるマンションでは床にブナのムク板を使つたが、夏場に木が浮いてきたという。浮いた床は手直しですぐに直つたが、「施工側にも『自然素材はそういうもの』という理解が必要。それをも味わいの一つとして受け入れられる人に勧めた」と話している。